



手術はバイオクリーンルームの手術室で行い、感染予防に努めている

人工股関節置換術に特化し MISを実現する高い技術と 患者の不安へ配慮した治療を

石部基実クリニック

豊富な手術経験に 裏付けられた技術

石部基実クリニックは人工股関節置換術に特化し、数多くの実績を持つことで知られる医療機関だ。小笠原クリニック札幌病院と提携し、石部基実院長と狩谷哲副院長の両名で数多くの治療を手がけてきた。再置換術を含めた症例数は、2012年1～12月だけでも668件におよぶ。

1つの手術に特化して、日常的に手術を行うことは、患者にとって大きな利点をもたらす。はつきり表れているのが、スタッフの技術の向上だろう。「看護師も手術に慣れており、指示を出

さなくても必要な器具を渡してくれる程です。それは手術を見学に来られた医師の方も驚いていました。その語る石部院長や狩谷副院長もまた高い技術を持ち、筋肉を傷つけることなく、7センチ程度にまで手術創を小さくしたMIS（最小侵襲手術）をほとんどの症例で可能とし、難易度が高い再置換術へも対応が可能だ。それにナビゲーションシステムを併用することで、さらなる正確な手術を目指しているという。

こうした全員の技術で手術時間の短縮や、少ない出血量など、レベルの高い手術を実現することが早期回復をもたらしている。同院

では術後早期に歩行を開始でき、4～12日での退院も目指せるという。

患者の不安にも配慮する 数々の取り組み

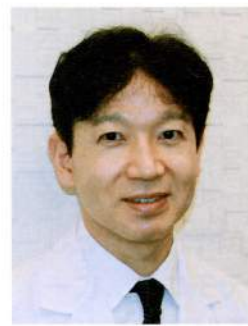
患者への手厚いケアを実現できるのもまた、治療に特化している利点である。外来診療のスタッフも人工股関節の知識が豊富であり、患者に自信を持って応対できる。その上で初診の人や術後半年、4～5年後の定期検査の人など、患者同士での会話が促しているという。「手術そのものが患者さんにとってストレスとなるのですが、当院では皆が同じ手術を受けた方なので話を聞きやすく、不安の払拭につながっています」。現在、こうした患者間の交流は「患者の会」へと発展し、より充実している。

石部院長はさらに多くの人に治療を提供できるよう、日本全国や在外邦人に向けた専用のツアーパックを用意すると共に、北海道以外の地域の病院との提携も進めている。あわせて力を入れるのが、ホームページを通じた手術数・術後早期合



院長 石部 基実

いしべ・もとみ ●北海道大学医学部卒業後、同大学医学部整形外科入局。米国ロチェスター大学医学部整形外科、NTT東日本札幌病院人工関節センター長などを経て、2008年に石部基実クリニック開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医など



副院長 狩谷 哲

かりや・さとる ●金沢医科大学医学部卒業後、昭和大学病院整形外科助手（股関節班チーフ）、総合高津中央病院整形外科医長などを経て、2010年より石部基実クリニックに勤務。日本整形外科学会認定整形外科専門医など



外来患者や入院患者は石部院長、狩谷副院長が診察し、ほかのスタッフもまじえ診療方針を検討する

診療科目： 整形外科
診療時間： 9:00～18:00 ※完全予約制
休診日： 水・土・日・祝
〒005-0012
北海道札幌市南区真駒内上町1-1-25
グリーンプラザ真駒内公園ビル
TEL.011-876-9008（平日 9:00～12:00）
FAX.011-876-8089
<http://www.dr-ishibe.net/>
<http://www.satoru-kariya.com/>
●石部基実クリニック 患者の会ホームページ
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~kanzyanokai/>

併症の件数などの情報公開や、講演を通じた啓発活動だ。「技術の進歩により、現在の人工股関節置換術は長期維持も十分可能になりました。それを知っていたら、長年足の痛み悩まないうようにしていただきたいのです」。そう優しく語る石部院長は、多くの股関節の痛みに悩む人を救うために全力を尽くす。